

(イ) 業態別 重大事故発生状況

令和元年中における事業用自動車の重大事故発生状況を、事業の業態別に示すと〔表 4〕のとおり。

総件数381件に対する業態別発生件数の割合は〔図 4〕にあるように、トラックによるものが最も多く全体の49%を占めており、次いでバス36%、ハイタク15%となっている。

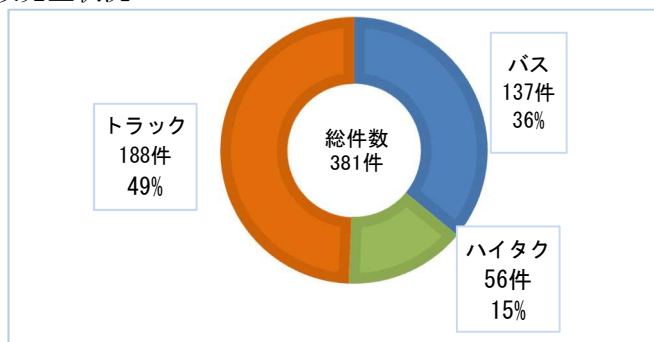
業態別の死者、重傷者の内訳をみると〔図 5〕のとおりで、死者の内77%がトラックによるもので、ハイタク17%、バス6%となっている。また、重傷者については53%がトラックによるもので、バスが25%、ハイタクが22%となっている。

業態別事故100件当たりの人身被害者数は〔表 4〕のとおり、死者の発生状況ではトラックによるものが最も多く27.1人、次いでハイタクが19.6人、バスが2.9人となっており、重傷者についてはハイタクが最も多く67.9人、次いでトラックが47.3人、バスが30.7人となっている。

〔表 4〕業態別 重大事故発生状況

区分 \ 業態別		バス	ハイタク	トラック	合計
件数		137	56	188	381
死者		4	11	51	66
負傷者	重傷者	42	38	89	169
	軽傷者	67	23	100	190
	計	109	61	189	359
事故百件当り	死者	2.9	19.6	27.1	17.3
	重傷者	30.7	67.9	47.3	44.4
	軽傷者	48.9	41.1	53.2	49.9

〔図 4〕業態別重大事故発生状況



〔図 5〕人身被害者数の内訳

